

令和4年度事業計画

令和3年度、当協会は、引き続きコロナ感染症の状況に応じた柔軟な事業運営に努め、観光客・教育旅行客誘致説明会を参加対象地域を拡大した上でオンライン開催するとともに、タイムリーな季節の話題や各種イベント、キャンペーンなどWEBでの情報発信、最新情報を掲載した観光案内図の作成などに取り組んだ。

令和4年度は、ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、デジタル化、脱炭素などの新たな動きも考慮しつつ、あらためて観光の再興に向けて準備・行動する重要な一年となる。

国内観光については、昨年度十分にアピールできなかった登録10周年の世界遺産平泉や、新たに登録された北海道・北東北の縄文遺跡群(御所野遺跡)、三陸沿岸道路の開通など、本県の優位な観光資源を本年度は特に強調しながら、観光客・教育旅行客誘致説明会を極力対面で開催するとともに、引き続きWEBでの情報発信に努め、東北DC¹のレガシー(遺産)を引き継ぐJR東日本の観光キャンペーンとも連動して観光客の挽回に取り組む。

国際観光については、回復に依然時間を要するものの、アフターコロナにおける外国人観光客受入再開に備え、県や関係機関と連携して、情報発信やオンライン商談会の開催などに機動的に取り組む。

一方、地域間競争に対応できる観光地域づくりを目指すため、各種観光データの収集・分析やマーケティング²を活用して、各地域の行う観光コンテンツ造成³や効果的なプロモーション⁴を支援できるよう、当協会の機能強化を図っていく。

こうした基本的認識に立って、県、市町村、市町村観光協会、観光関係団体、民間企業等と緊密に連携し、以下の重点事項を中心に事業を展開する。

1 観光宣伝紹介

国内外からの本格的な観光客誘致再開に向けて、岩手県観光総合サイト「いわての旅」やSNS⁵などの活用により、観光地の魅力やイベント、体験観光などの多様できめ細かな情報を、よりタイムリーに発信する。

2 国内観光客の誘致促進

大都市圏からの観光客の誘致拡大と本県の知名度向上を図るため、観光客誘致説明会を大都市圏で対面により開催し、本県観光の魅力発信に引き続き取り組む。

教育旅行については、学校の関心が高いSDG s⁶や歴史・震災学習など「探究学習」を主体とした旅行の紹介宣伝を新たに強化する。

3 国際観光の推進

アフターコロナにおける外国人観光客の受入再開に備えるため、県や関係機関と連携を強化しながら、現地旅行博や商談会へのオンライン参加等により、極力、本県観光の紹介宣伝を行うほか、海外の新聞社、テレビ局や旅行会社を招請し、本県の知名度向上の情報発信や受入態勢の強化に取り組む。

4 受入態勢の整備

本県のおもてなしの一層の向上を図るため、引き続き、観光従事者向けに接遇研修会を実施するほか、新たに最新の業界動向などをテーマにした研修会を実施し、観光人材の技能や知識の向上を図る。

また、バリアフリー観光⁷などに関する情報案内の充実を図る。

5 観光団体等への支援と連携

本県への観光客の誘致拡大を図るため、観光団体等の取組を支援するほか、国内外で開催される観光PRイベントへの参加や、関係機関との連携に必要な負担金の拠出、協力を行う。

また、賛助会員の意向を事業運営に最大限反映できるよう随時把握に努めるとともに、会員の自主的な観光振興の取組を支援する。

6 協会の機能強化

県や専門人材等と連携して、データ分析やマーケティングなどの能力を養成し、各地域の効果的なプロモーションや戦略立案等への活用を通じて、観光地域づくりを支援できるよう、当協会の機能を強化する。

事業別事業計画

I 【観光宣伝紹介】

1 観光情報の発信

(1) 観光情報高度化推進事業

本県への観光需要拡大のため、観光情報総合サイト「いわての旅」やSNSにおいて、本県観光地の魅力やイベント、体験観光などの掲載内容の充実を図り、よりタイムリーな情報発信に取り組む。

あわせて、「いわての旅」において外国語版サイトや海外向け動画などを紹介し、本県観光の魅力を海外に発信する。

(2) 観光情報システム分担金事業

(公社)日本観光振興協会の観光総合サイト「全国 観るなび」を活用した情報発信のため、「全国観光情報データベース」の整備・運用に係る分担金を拠出する。

(3) パブリシティ(宣伝媒体)有効活用事業

本県観光地等の知名度向上と誘客拡大を図るため、総合サイトやSNSのみならず、首都圏や近県等で販売、配布される地域情報誌、旅行雑誌等を活用した観光情報の発信に取り組む。

(4) 観光宣伝媒体作成事業

三陸沿岸道路の開通などを反映した最新の「岩手県観光案内図(いわて旅の地図)」を更新・増刷しながら、本県を訪れる観光客等に広く配布する。

(5) 観光キャラクター活用事業

本県の認知度向上と誘客拡大を図るため、PRキャラクター「わんこきょうだい」グッズの活用とともに、新たにプラスチックを用いないグッズを用意して、各種観光キャンペーンなどで広く配布する。

II 【国内観光客の誘致促進】

1 国内観光客の誘致促進

(1) 観光客誘致説明会

大都市圏から本県への観光客の誘致拡大を図るため、いわて観光キャンペーン推進協議会との共催で、東京都、名古屋市及び大阪市において、旅行商品造成・仕入担当者等を対象とした観光客誘致説明会を開催するほか、旅行会社への訪問活動を通じ、本県観光へのニーズ等の情報収集を行う。

(2) エージェント(旅行会社)招待事業

三陸沿岸道路等を活用した沿岸・県北地域の旅行商品の造成や販売、新たな観光資源の発掘や磨き上げを促進するため、県外旅行会社を招待し、現地視察及び意見交換を行う。

2 教育旅行の誘致促進

本県への教育旅行の誘致拡大を図るため、札幌市、東京都及び大阪市において教育旅行誘致説明会を開催するとともに、それ以外の地域(北関東や東海地区など)を補完するオンライン説明会を開催し、本県の魅力ある教育旅行メニューや受入態勢等の紹介宣伝を行う。

また、探究学習(SDGsや歴史・震災学習など)を主体とした教育旅行の資料を新たに作成し、関心のある学校に対して紹介宣伝を行う。

Ⅲ 【国際観光の推進】

1 外国人観光客の誘致宣伝

アフターコロナにおける外国人観光客の来県に備え、関係機関と連携して海外で行われる旅行博への出展や現地旅行会社との商談会にオンライン等で参加し、あらためて本県観光地の紹介や観光情報の発信に取り組む。

2 外国人観光客の受入

(1) 国際航空便歓迎行事等

本県への外国人観光客の誘致拡大を図るため、いわて花巻空港を利用して来県する外国人観光客に対して歓迎行事を実施する。

(2) 外国人観光案内所運営支援(いわて・盛岡広域観光センター)

盛岡駅2階南口の観光案内所「いわて・盛岡広域観光センター」内に設置されている「V案内所⁸⁾」の運営に対し経費の一部を負担する。

(3) 外国人観光客受入態勢整備事業

外国人観光客の受入態勢の向上と一層の誘致につなげるため、関係機関と連携して外国人留学生を対象としたモニターツアーを実施する。

また、本県に海外の新聞社、テレビ局や旅行会社を受け入れる際、滞在環境等について意見交換するほか、県内観光関係者との商談を支援する。

3 北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営

韓国からの観光客の誘致促進のため北東北三県及び北海道が共同で設置している「北東北三県・北海道ソウル事務所」の管理運営を岩手県から受託するほか、韓国で開催される観光商談会へのオンライン参加など、4道県が連携して実施する事業に対して支援、協力を行う。

Ⅳ 【受入態勢の整備】

1 来県する観光客への対応

(1) 「いわて観光おもてなしセンター」・「V案内所」管理運営

本県の観光情報を総合的に提供するため、協会に「いわて観光おもてなしセンター」及

び「V案内所」を設置し、国内外からの来訪、電話、手紙及びメール等での本県観光に係る意見、要望、相談及び資料請求等に対応する。

(2) いわて・盛岡広域観光センター運営支援

本県を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、本県の観光情報の提供や相談対応を行う盛岡駅2階南口の観光案内所「いわて・盛岡広域観光センター」の運営に対し、経費の一部を負担する。

2 観光人材の育成

(1) ボランティアガイド育成事業

県内各地で活動する観光ボランティアガイドの技術向上とネットワーク化を目的とした「岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会」の活動に対し支援を行う。

(2) 観光業務優良従事者表彰

観光業務に従事する職員の意欲の高揚と資質の向上を図るため、5月16日の「観光の日⁹⁾」事業の一環として、各団体から他の模範とするに足ると認められて推薦された者を優良従事者として表彰する。

(3) 接遇及び観光課題研修事業

本県の「おもてなし」向上や業界動向把握のため、県内の観光事業者や団体職員を対象とした接遇研修会のほか、最新の観光課題をテーマとした研修会を実施する。また、県内各地で開催される接遇研修会に、本協会が認定した「いわて観光おもてなしマイスター¹⁰⁾」等を講師として派遣する。

3 多様な顧客ニーズへの対応

(1) 「いわてバリアフリー観光情報案内所」管理運営

多様な顧客ニーズに対応するため、協会に設置した「いわてバリアフリー観光情報案内所」において、県内宿泊施設等のバリアフリー観光への対応状況について情報提供するほか、受入を促進するための研修会等を行う。

(2) 「観光の日」事業

旧岩手県観光連盟が、西暦2000(平成12)年に、県民一人ひとりが観光の持つ重要性を認識し、観光による地域づくりを考え、自ら取り組む契機となるよう、5月16日を「いわて観光の日」と定めており、この日を記念して講演会等を行う。

V 【観光団体等への支援と連携】

1 関係団体等への支援

(1) いわて観光キャンペーン推進費

いわて観光キャンペーン推進協議会に対する負担金を拠出し、その活動を支援する。

(2) **いわてウインターリゾート協議会事業**

いわてウインターリゾート協議会に対する負担金を拠出し、スキー客等の冬季観光客の誘客活動を支援する。

(3) **各種キャンペーン支援事業**

県や関係機関等が実施する各種観光キャンペーンへの支援・協力として観光イベント等に参加・出展し、観光PRを行う。

(4) **賛助会員のニーズ把握及び自主的取組への支援**

賛助会員から、随時、訪問や電話、アンケート等によりニーズを聴き取り、事業運営に反映するとともに、賛助会員の行う自主的な観光振興の取組(人気ゲームソフトを活用した観光PRなど)に対して支援、協力を行う。

2 関係団体等との連携

(1) **(公社) 日本観光振興協会への拠出金**

(公社) 日本観光振興協会の全国広域観光振興事業に対し拠出金を拠出する。

(2) **(一社) 東北観光推進機構事業**

東北7県・民間団体等で構成する(一社)東北観光推進機構のオール東北による海外プロモーションや教育旅行の誘致活動などを通じて、本県への観光客の誘客拡大を図るため、同機構に対し負担金を拠出する。

(3) **北東北三県観光立県推進協議会事業**

北東北三県観光立県推進協議会が行う、首都圏等でのプロモーションや新聞社・テレビ局・旅行会社等の招請事業を通じて、本県への観光客の誘客拡大を図るため、協議会に対し負担金を拠出する。

(4) **観光宣伝事業等負担**

岩手県空港利用促進協議会等の観光関係団体等に対して負担金を拠出する。

VI 【協会の機能強化】

1 魅力ある観光地域づくりへの支援

(1) **データ分析・マーケティングの強化**

地域資源を生かした特色ある優れた観光地域づくりを推進するため、県や地域の観光事業者、専門人材と連携し、各種観光データの分析やマーケティングを強化して、地域が行う観光コンテンツ造成や効果的なプロモーションなどを支援する。

(2) **観光地域づくり実践地域の育成**

観光地域づくりに課題を抱える地域に専門人材を派遣して、課題分析や戦略立案などを行い、観光地域づくりの高度化を支援する。

Ⅶ 【その他】

- 1 観光団体等が主催するMICE¹¹の誘致活動に対して支援、協力を行う。
- 2 国際リニアコライダー（ILC）の実現に向けて、観光面から支援、協力をを行う。
- 3 県や関係団体のグローバル人材の育成活動に対し、観光面から支援、協力をを行う。

-
- 1 東北DC：東北デスティネーションキャンペーンの略。2021年4月～9月末まで行われた、東北6県の自治体や観光関係者とJR6社などが一体となって実施した大型の観光キャンペーン。
 - 2 マーケティング：目的地が観光客を受け入れるに当たり、観光客のニーズや需要を予測、把握し満足させること。
 - 3 観光コンテンツ造成：観光コンテンツ(観光素材・資源)を磨き上げ、地域の魅力を高めること。
 - 4 プロモーション：商品(サービス)の販売、認知、理解、好感度、ブランド価値を促進させる一切の活動。
 - 5 SNS：Social Networking Service(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の略。Facebook(フェイスブック)、Twitter(ツイッター)、LINE(ライン)などインターネットを介して人間関係を構築できるスマートフォン・パソコン用のWebサービスの総称。
 - 6 SDGs：Sustainable Development Goalsの略。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標。
 - 7 バリアフリー観光：すべての人が楽しめるように創られた旅行。主に高齢者や障がい者に対応した旅行。
 - 8 V案内所：日本政府観光局が認定した外国人観光案内所(ビジット・ジャパン案内所)。
 - 9 観光の日：松尾芭蕉が東北・北陸地方に旅立った日である5月16日を「いわて観光の日」として制定。
 - 10 いわて観光おもてなしマイスター：マイスターは「名人」などを意味するものであり、いわて観光おもてなしマイスターは、おもてなしの心と豊富な観光知識で観光客に対応することができる方として、当協会が認定している。
 - 11 MICE：企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition / Event)の頭文字をとったもの。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。